



～ 第2回 ブロックチェーンアプリコンテスト グランプリ受賞発表 ～
ブロックチェーンを使って主催者も **インチキ** できない抽選アプリを実現
NEMのアポスティーユを使った抽選アプリを開発した日本情報通信がグランプリを受賞！

一般社団法人ブロックチェーン推進協会（代表理事：平野洋一郎、アステリア(株) 代表取締役社長、以下 BCCC）は、3月26日に開催した第2回ブロックチェーンアプリコンテストにおいて、日本情報通信株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：廣瀬雄二郎、以下 NI+C）がグランプリとなる「BCCC賞」を受賞したことを発表します。

第2回ブロックチェーンアプリコンテストでは、仮想通貨やポイントではないアイデアに基づく独自のブロックチェーンアプリを募りピッチ大会を実施。BCCC加盟企業6社がエントリーし様々なアプリが発表された中、NI+Cが開発したブロックチェーン抽選アプリ「ロトスティーユ」がグランプリとなる「BCCC賞」を受賞しました。

この抽選アプリは、ブロックチェーンを使うことで主催者であってもインチキ（不正）ができない仕組みを実現。具体的にはブロックチェーンに記録された抽選券データのハッシュ値と、当選券のハッシュ値の一致を確認することで当選券の不正が出来ない抽選アプリを作成しました。時折発生している抽選イベントでの不正（抽選券の偽造、当選数の操作・制御）を解決し、主催者、参加者の双方にとって公正性が担保されたインチキのない抽選イベントの実現をこのアプリを使うことで可能にしました。



授賞式の様子（撮影日：2019年3月26日）
NI+C 開発チーム（左：原田氏、右：浜谷氏）
BCCC賞（シンガポール視察ツアー）を受賞

審査員からはブロックチェーンの耐改ざん性を用いて一般の人でもわかる抽選の仕組みを開発した点が評価され、今後のビジネスへの展開も期待できることからグランプリに選ばれました。

■グランプリ受賞者のコメント

日本情報通信株式会社 ソリューション革新部

浜谷 貞祐 氏

この度はこのような栄えある賞をいただき、誠にありがとうございます。今回はNEMのアポスティーユ（公証）機能をうまく使った面白くて社会課題解決の役に立つアプリ作りをテーマに定めて取り組みました。開発にあたっては、多数のNEM開発者が公開くださっているリソースを参考にさせていただきました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

■技術応用部会（コンテスト主催）部会長のコメント

アステリア株式会社 ブロックチェーン事業推進室 室長

森 一弥 氏

ブロックチェーンは未だに仮想通貨と同一視される方が多くいらっしゃいます。そのような中、開催された「第2回 仮想通貨じゃない”アプリコンテスト」はタイトル通りブロックチェーンの活用を考え、アイデアだけでなく実際に作ってみるという趣旨で行っています。第2回は初回に比べてよりアイデアを練って望まれた参加者が多く、実際のビジネス活用へのヒントも多く含まれていた有意義なコンテストになりました。ブロックチェーン技術の普及啓発、参加・協力していただいた方々の実ビジネスでの活用に本コンテストがますます寄与できるよう、今後も開催していきたいと考えています。

■アプリコンテスト参加企業、アプリケーションの概要

| 会社名 | アプリケーションの概要 |
|--------------------|----------------------------|
| 株式会社アイティフォー | ブロックチェーンの特性を活かしたタイムカプセルアプリ |
| 株式会社エクサ | 金銭のやり取りが発生しない、権利譲渡アプリ |
| 株式会社 Opening Line | 知的障がい者のネットショッピングを可能にするアプリ |
| 株式会社トリプルアイズ | 技術者の経歴情報の改ざん防止アプリ |
| 株式会社ナンバーワンソリューションズ | 抽選内容の改ざん防止アプリ |
| 日本情報通信株式会社 | 大規模抽選の課題をアポスティユで解決するアプリ |

当日は、アプリコンテスト参加者の他にも、50名を超える見学者が来場。短い開発期間にもかかわらず、様々なアイデアをもとに作成されたアプリケーションを実際に体験しました。

BCCCでは、今後も技術応用部会、教育部会といった部会活動、教育プログラムにおいて様々なブロックチェーン技術を学ぶ場を設けるとともに、同様のコンテストを継続的に実施。Fintechや仮想通貨に限らないブロックチェーンの適用領域拡大を推進します。



当日のプレゼンの様子（アステリア株式会社にて）

■日本情報通信株式会社とは

設立年月：1985年12月

資本金：40億円

日本情報通信（NI+C）は、NTTおよび日本IBMにより1985年に創立され、情報通信の先進的な技術を積極的に吸収しながら、システムインテグレーターとして成長してきました。IBMの先進技術をベースに、システムインテグレーション、基盤構築、運用保守、NTTのネットワークやクラウドサービスを含むマネージドサービスの各分野で、ソリューションを提供しています。現在、ブロックチェーン/AI/IoT等の先進技術を活用したソリューション事業を展開しています。

URL：<https://www.niandc.co.jp/>

■「一般社団法人ブロックチェーン推進協会（BCCC）」とは

一般社団法人ブロックチェーン推進協会（英語名：Blockchain Collaborative Consortium、略称：BCCC）は、加盟者数270社（2019年1月現在）を誇る日本最大のブロックチェーン推進団体です。最近では金融機関やFinTech関連業界にとどまらず、ブロックチェーン技術を活用する企業の加盟も進んでいます。本会は、ブロックチェーン技術の未来を確信する国内企業が、相互に情報交換、切磋琢磨しながら、ブロックチェーンの普及啓発を行い、自らブロックチェーンの適用領域を拡大し、各加盟企業の事業発展に資するとともに、ブロックチェーン技術の進化にも寄与することを目的とした団体です。

■「ブロックチェーン技術」とは

ビットコインの中核技術として発明された、ピア・ツー・ピア方式によるデータ処理の基盤技術です。複数のコンピューターが分散型合意形成を行い、暗号署名しながらブロック単位で複数データを処理するのが特徴です。安価なコンピューターで稼働し、ゼロダウンタイムと、改ざん不可能なセキュリティを実現します。バックアップや冗長化も必要なく、劇的なコスト削減が可能であり、キャパシティを超えても落ちないため、金融機関にも注目されています。

【プレスリリースに関するお問い合わせ先（報道機関窓口）】

アステリア株式会社 広報・IR室：長沼史宏

TEL: 03-5718-1297 / 携帯電話: 080-7834-0841 / E-mail: press@asteria.com

【一般社団法人ブロックチェーン推進協会への入会申し込み、その他のお問い合わせ先】

・入会申し込み受け付けサイト

<http://bccc.global/ja/application>

・お問い合わせ窓口

ブロックチェーン推進協会 事務局（アステリア内）

TEL:03-5718-1297 / E-mail: bccc@bccc.global

BCCCは、一般社団法人ブロックチェーン推進協会の登録商標です。

本文中の企業名、商品名等は、各社の商標または登録商標です。